



はじめに、2024 わたしたち労働組合 1%の賃金改善を実現 「賃金や物価は上がら 年元日の能登半島地震 は2014年より賃金 することができまし ない」というノルムを 原原則である「雇用の維 ならびに9月の豪雨に 水準の改善に継続的に た。しかしながら、い 払拭し、全体への波及 持・拡大」「労使の協 よりお亡くなりになら 取り組み、一貫して生 まだ実質賃金はマイナ と継続的な賃上げを定 力と協議」「成果の公 した方々に、謹んで哀 活の維持・向上と、人 スから抜け出せず、か 着させていくことが求 正な分配」を徹底して 悼の意を表しますと への投資による経済好 つ、諸外国と比較して められます。 いく必要があります。

もに、被災された皆様 循環、さらにはデフレ 日本は依然とし そのためには、価格 今年は巳年です。

## これまでのノルムを変え、 新たな進化を遂げる年に

昨年11月に全労生議長に心よりお見舞い申し からの脱却を主張して て低い水準に留まって 長に就任しました電機 上げます。 まいりました。一昨年 います。

連合の神保です。皆さ さて、2025年春 頃から賃上げの重要性 2025年春季交渉 にとともに生産性運動 季交渉がいよいよ本格 ・必要性が広く認識さ において、これまで を推進してまいります 的にスタートします。 れるようになり、社会 築き上げてきた「賃上 し、その解決に向けて ます。今年に極めて重要な位 的にも賃上げの機運が げの必要性」や「その 真摯に協議を進めるこ 賜りますよう、よろし 置づけとなります。 高まる中、昨年5・ 重要性」をさらに強め、 とが不可欠です。その しくお願いします。